

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」常総校		
○保護者評価実施期間	2024年11月18日		～ 2024年12月24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 3人
○従業者評価実施期間	2024年12月1日		～ 2024年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 1月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	常総校の強みは、心理学、教育学、言語療法などの優れた専門家がいることで、保護者は常に子どもの教育についてアドバイスを受け、必要に応じて関係機関へのサポートを受けることができます。	専門性を活かした良質かつ適切な支援の提供と、保護者・児童の意向に沿った支援内容	きらり常総はSNS(フェイスブック・Instagram)で支援を表明している
2	常総校スタッフと親子の関係は、専門的な信頼関係が成立しています。	事業所内だけでなく、必要に応じて相談員、福祉行政機関、児童相談、保険センター、発達支援センター、教育委員会・学校、こども園などと連携し、言語的サポートをしています。	様々な課題やライフステージに応じた適切な支援を今後も展開してまいります。
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所内がワンフロアでやや狭い環境のため、児童が集中して療育支援に参加できない面があります。	ワンフロアの中に、事務スペースと支援スペースが混在する状況があるため、分ける方法を検討してきました。	事業所の移転を行う予定です。設備面の充実も行います。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」常総校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 2024年 12月 24日

回収数 3

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1  こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2			1		利用者の安全安心のためのレイアウト調整を継続的にしています
	2  職員の配置数は適切であると思いますか。	3					法令に沿って配置しております。
	3  生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2			1		情報伝達についてもできる限り配慮しております。
	4  生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	3					引き続き環境整備に努めます。
適切 な 支 援 の 提 供	5  こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3					さらに専門性を活かして良質な支援を行います。
	6  事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3					5領域に係る発達段階に応じた支援プログラムに沿って適切かつ良質な支援を提供できますよう努めています。
	7  こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3					利用者本位で、良質かつ適切な支援展開ができますよう努めます。
	8  児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3					5領域に係る発達段階に応じた個別支援計画を作成し、利用者本位の支援展開に心がけています。
	9  児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3					引き続き、適切な支援を展開します
	10  事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	3					よりよい活動が展開できるよう工夫していきます。
11  保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3					適宜適切な連携を図っていきます。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12  事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3					引き続き丁寧に対応します。
	13  「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3					引き続き丁寧に対応します。
	14  事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3					ニーズに応じて適宜適切な対応を行います。
	15  日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	3					工夫して時間を共有できますよう努めてまいります。
	16  定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3					様々なコミュニケーションツールも駆使して展開します。
	17  事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3					丁寧に傾聴することに努め、共感し信頼関係を構築しつつ支援いたします。
	18  父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1		2			感染症に留意しながら、定期的なイベント等の機会を設定してまいります。
	19  こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3					引き続き、ニーズに応じて適宜適切な対応を行います。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3					様々な状況に対応できますよう工夫してまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3					定期的なSMS更新、事業所内掲示をこまめにしてまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3					個人情報保護規程に沿って適切に対応しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3					各種マニュアルを整備し、定期的な見直し、研修を行っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3					月1回程度防災訓練を行っています。今後も掲示SNS等で報告を行います。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3					様々な機会に安全管理面はもとより、緊急時の対応についてご説明しています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3					契約時及びSNS等で定期的に事故発生時に対応にご説明しています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	3					今後も良い支援を提供できるよう努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	3					今後も満足していただけるよう努めます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	3					今後も満足していただけるよう努めます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」常総校		公表日		2025年 2月 15日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		スペースを広くしたり、パーティションで工夫	ニーズに合わせる。工夫します	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6			法令に沿って配置しております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		安心してサービス提供ができるよう工夫しています。	情報伝達についてもできる限り配慮しております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		毎日掃除し、支援ごとに消毒しています。また装飾を工夫しております。	清潔で心地よい空間となるよう努めております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		利用者のニーズに沿って対応しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		保護者のご意見をお聞きし業務改善に繋げております。	PDCAサイクルにより、業務改善に取り組んでおります。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			保護者等の意向を把握し、業務改善につなげております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		打合せや会議及び1ON1ミーティングで傾聴しています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6			第三者評価は実施しておりませんが、社内において内部監査を実施しています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		職員間、事業所間でも情報共有や研修を行い資質向上に努めております。	年間計画に沿って実施しております。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		支援プログラムは5領域ごとに必要とされる支援を意識できるようになっています。	公開は今年度中に行う予定です。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6			利用者の状態を適切に把握し、意向に沿った支援が提供できるよう努めております。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		個別支援会議はスタッフ全員参加実施し、個別支援について情報共有できるように取り組んでいます。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		個別支援計画は全員が共有し、目標・支援方法に沿ったサポートが展開されています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		標準化されたツールを使用しております。	さらに5領域に沿った内容に修正する予定です。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			ガイドラインに沿った適切かつ良質な支援が提供できるよう努めております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6			活動プログラムは、常にスタッフ間で共有され、展開される仕組みができています。	



供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			それぞれの専門性を活かしたアプローチをしていますので、固定化することはありません。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		ニーズに応じて専門職による支援を取り入れております。	集団と個別の療育を組み合わせで支援しております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			事前に打合せを行っております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			共有が必要な情報は随時、打ち合わせを行っております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			支援記録は漏らすことなく記入し、評価と課題に繋げております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			最低6か月に1回はモニタリングを実施しております。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			児発管のほかにも主担当が出席する場合があります。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			児発管が積極的に取り組んでいます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			保護者の意向に沿って、児発管が積極的に連携し、よりよい関係機関連携を行っています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6			保護者の意向を踏まえて連携しております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6			児発管は連携をしています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			保護者とこまめに連絡を取り合い、傾聴し課題可決に向けた共通理解に努めております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1		状況に応じて相談員、関係機関と連携して取り組んでいます。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			契約時に丁寧に説明しております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		計画相談、アセスメント、モニタリング、担当者会議などの機会に利用者・保護者の移行を尊重した支援に結び付けています。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			丁寧に説明し、必要に応じて修正することもお伝えしています。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		定期的に事業所内相談のお声掛けをしています。	連絡をこまめに取り合い、必要に応じて助言を行っております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6			感染症に留意しながら、ご家族参加のイベントや相談会・研修会の開催を行い、相互の交流ができるよう配慮しています。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			相談や要望に対して、真摯に対応しております
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6			定期的にブログやフェイスブックを更新しております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			個人情報の管理は徹底しております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			各々の状態に応じた配慮を心がけております
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6		実施していません。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			各種マニュアルを用意し、研修及び訓練を行っております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		児童の特性に配慮しながら訓練を実施しております。	月に1回防災訓練（火事・地震・不審者等）や法令に基づいた研修・委員会を行っております。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			相談の際に聞き取り留意しております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			相談の際に聞き取り留意しております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			安全計画に基づいて無事故の運営に努めています。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			安全計画に基づいて無事故の運営については、保護者にも機会あるごとにご説明しご理解いただいています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			ヒヤリハットがあった際は、記録に残すとともに、打ち合わせ時に口頭でも共有しております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			年に一度、もしくは入職時に研修をしております。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6			事前に身体拘束に係る承諾書を保護者にご説明し承諾を得ております。また、実際に行う場合は、説明報告をしております。	